

## 2年修学旅行 フィールドワーク

### 1 目的

2学年の課題研究は、社会課題の調査・分析を行った上でアイデアを考え、社会実装を目指して、取り組んでいる。修学旅行では、学校生活とは異なり、街中を周り、さまざまな場所を訪れる。その街中（観光地中心ではあるが）で、①「あまり気づかれていない課題」を見つけたり、②「興味深い解決策」を考えることで、生徒の課題を発見あるいは解決手法を模索する能力・資質の向上を目的とした。

### 2 概要

#### (1) 方法

生徒は4～6人のグループに分かれて、修学旅行期間中に①「あまり気づかれていない課題」または②「興味深い解決策」に関する写真を撮影し、140字以内の文とともに、グーグルスライド1枚にまとめて、提出した。

#### (2) 対象

2学年生徒（修学旅行のグループごとに実施）

#### (3) 場所（修学旅行の方面）

広島・兵庫・大阪・京都

#### (4) 日程

修学旅行期間（11月12日（火）～15日（金））

#### (5) 内容

SSH（フィールドワーク）担当職員が、各グループで作成したスライドを選考して、最優秀賞1グループ、優秀賞2グループを選出した。課題研究の時間において、2学年生徒に作品を紹介し、表彰式を行った。

#### (6) 優秀作品紹介

##### ○最優秀賞（2年5組7班）



見た目がほぼ同じの路線バス  
観光地である京都において、交通の要となっている府営バスの見た目がほぼ同じになっている。  
路線バスは電車などと違い、同じ停留所に様々な路線のバスが発着する。昨今の外国人観光客の増加で、バスの判別が数字のみ、(行先表示は英語と日本語のみ)であるというのは、京都のバス事情を事前にしっかり把握していないと、誰でも難しい問題であると考え。

##### ○優秀賞（2年5組3班）



#### 危険な社会課題

厳島神社の出島の縁がとて危険だと思った。柵もなくすぐに水深も深くなるため、小さな子供などが踏み外してしまえばおそらく溺れてしまうものと思われた。また、近くには特に陸に上がるための階段はなく、一度踏み外して落ちてしまえば石垣に登るか少し離れた浜へ泳ぐかしなければ陸へ上がることはできそうになかった。老若男女が安全に観光できるように、簡易的な柵を設けるべきだと思った。

##### ○優秀賞（2年2組5班）



#### ペットボトルのリサイクルの量を上げるために

リサイクルしてくれた人にポイントをあげることでリサイクル量を上げていた。  
ポイントの財源はなんなのか気になったが、よくわからなかった。  
環境を良くするためにこんな取り組みが行われているのはいいことだと思った。

#### (7) 所感

本校ではここ数年間、歴史的・文化的遺産に接することにより、日本の伝統文化や平和の意味について真摯に考察し、社会に向けた自己の視野を広げることを目的に、広島や関西方面への修学旅行を実施してきた。しかし、観光地を回ることだけではもったいないと考え、そのような目的だけでなく、探究的な視点をもたせる意味で、「フィールドワーク」を3年前から実施している。

生徒たちは、修学旅行本来の目的を達成しながら、探究的な視点で街中を観察している。生徒にとっては、生活圏ではない地域を色々な角度から見ることで、社会の在り方考える機会となっている。また、情報収集能力や情報処理能力の向上に繋がったと考えている。